



市辺地区まちづくり協議会広報誌

いちのべ

万葉のまち 市辺



第46号

平成31年1月



道ばたに花を植えて「お正月」の準備
東市辺の水土里と子ども会のコラボ



発行:市辺地区まちづくり協議会 / 東近江市市辺町2391
市辺コミュニティセンター内 TEL&FAX 050-5802-3392
ホームページ 万葉のまち市辺 ichinobe.com

万葉のまち市辺 検索



新年のご挨拶



須田 智廣 会長

市辺地区の皆様、あけましておめでとうございます。

まちづくり協議会の役員を代表して新年のご挨拶を申し上げます。平素は、まちづくり協議会に対し御支援御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、6月の大坂北部地震、7月の西日本豪雨、各地で最高気温が更新された猛暑の夏、9月には日本各地に大きな爪痕を残した台風21号、北海道胆振東部地震による大規模停電など、自然の驚異を目の当たりにしました。当たり前の

ように過ごしていた日常が決して当たり前ではないことに気付かされた一年でした。

当まちづくり協議会におきましては、一昨年から「減災プロジェクト事業」を通して、「安全・安心に暮らせるまちいのべ」をめざし取り組みをすすめているところでございます。本年も変わらずご支援ご協力をお願い申し上げます。

市辺地区の皆様にとりまして、今年一年が、より一層の飛躍の年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

市辺地区まちづくり協議会 会長 須田 智廣

優秀賞
通学路 田んぼや野山ぼくの道
　　緑あざやかに蒲生野の丘
八日市西小学校五年 小澤和平

特選いちのん賞
夏の海 打ち上げられたごみ拾い
　　きれいになつた夏のすなはま
御園小学校四年 水野真志

特選いちのべー賞
夏げしききれいな川のせせらぎと
ほのかに光るほたるの明かり

優秀賞
蒲生野の万葉の森白い花紫草の
花かれんにゆれる
　　花かれんにゆれる
マウンドに皆の思いを背負い立つ
己に勝つぞ夏の甲子園
船岡中学校一年 安井大貴

特選いちのん賞
リシリシリン林の中でコンサート
演奏しているの秋の虫たち
朝桜中学校二年 竹村まろん

特選いちのべー賞
愛東中学校二年 上川恋奈

蒲生野大賞
星の降る里にあなたを待ち続け
広い野原の一樹となりぬ
　　はしゃぎて子等はたいまつ髪す
すじ雲と並んで歩く虫送り
　　東近江市 村田淳子

標野賞
万葉の船岡山の歌碑の文字
なぞりて風化の時感じいる
　　東近江市 平尾とくを

紫野賞
すじ雲と並んで歩く虫送り
　　札幌市 藤林正則

第6回 蒲生野万葉短歌会受賞作品紹介

蒲生野大賞は札幌市の藤林さん

好天にめぐまれ賑わった いちのべ万葉フェスタ

10月28日（日）、秋晴れの船岡中学校を会場に「いちのべ万葉フェスタ」が開催されました。

午前10時、門野市辺地区自治連会長の開会挨拶の後、蒲生野万葉短歌会の表彰式が行われました。続いてステージには、お猿の「しんちゃん」が登場し大人も子ども達も大喜び。その後、あかね幼稚園の合唱と船岡中学校吹奏楽部の演奏に堪能してお昼休憩に入りました。

会場を取り囲むテントでは、各町・各団体・中学生の味自慢の店、一方では、体脂肪測定・輪投げ・くじ引きや防犯用品の展示や凧造りなど多彩なバザーに買い物のひと時。

午後の部は、若いパワーの「よさこいソーラン」に圧倒され、お楽しみ抽選会で一等を手にした幸運な方に拍手を贈りフェスタは終わりました。



御代参街道を歩く

秋日和にめぐまれた11月18日（日）、総勢15名が布施公園を出発し、五個荘小幡まで約9Kmの道程を踏破。

古地図を手に道標・神社・寺院・旧家などを観ながらの再発見の約4時間、ゆったりとした漫遊ウォークでした。

その都度、えっ！こんなところに道標・長谷野植林記念碑・見送り稻荷・東雲園（しののめ）・蛇砂石灯籠・札の辻の地名由来の高札場…など。親玉饅頭で少しの腹ごしらえ。額田王の万葉歌碑が薬師寺・市神神社にもありました。御旅所を左折後、七基の神輿やおばけ提灯がくり出す勇壮な祭りが行われる日吉神社へ向かいました。

大塚の小川で子ども達の小魚とりをしばし観戦。五個荘奥村神社で休憩、近くに馬頭観世音の碑、街道では道中馬

が大切にされたのであろう。そこから一直線に小幡へ。五個荘コミセンで待ちかねた昼食後近江鉄道で帰路につく。出会いと発見の一日でした。

2回目は「今堀～石原（日野町）」です。皆さん是非ご参加下さい。



道標
蛇溝町（布引台付近）

このまち「この人」

竹細工の匠

東市辺町

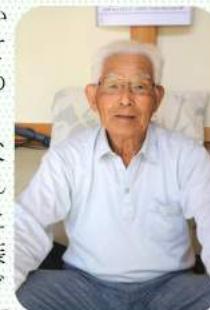
谷 喜助さん

昨年5月に米寿を迎えた谷喜助さんから、竹細工にまつわる話を伺いました。

東市辺町で竹細工が始まったのは定かではなく、明治時代にはすでに営まれていたようです。大正から昭和にかけての最盛期には町内で30軒くらいあった、とのことです。喜助さんご自身は、お父さんの喜一さんから手ほどきを受けられたのが小学校3年生頃で、作られていたのは家庭用品の、手籠・食器乗せ・衣装籠（乱れ籠）・自転車籠（ヤミ籠）などで、農閑期に現金収入を得る大切な仕事でした。しかし昭和30年ごろ、プラスチック製品の台頭とともに姿を消して行きました。その後、喜助さんは伊勢神宮の御用籠を納められたり、滋賀大学から「竹細工の講師」として招かれ、学生を指導されたりしていました。

現在は趣味として創作活動をされ、毎週2回（月・木）ご自宅に集まる同好者7～8人を指導されています。松

阪市・守山市・大津市・日野町から習いに来られる人の中に後継者も数名おられ、技術の継承と人材育成が喜びと語る匠の表情は輝いていました。これからも益々お元気でご活躍ください。



… 東近江市活動推進交流会 … 「わくわくこらぼ村」に参加

12月1日（土）午前10時より、ショッピングプラザ・アピア4階のアピアホール及び研修室で開催されました。

52市民団体が参加し、活動紹介や展示・体験・販売が繰り広げられ、来場者も多く大変賑やかなイベントでした。

市辺地区まちづくり協議会から、安全・安心部会が災害時に役立つ段ボールで作れる「簡易トイレ・簡易スリッパ」、アルミホイルを活用した「簡易フライパン」、キッチンペーパーで「マスク作り」などの展示・体験を行いました。自然・環境部会は生ゴミ堆肥作りの紹介、まちづくり農園で育てた大豆の販売を行い、両部会とも多くの方から関心を集めました。

午後からは、わがまち共働大賞各賞の表彰があり「女子野球で少女たちに夢を！地域に元気を！」の東近江バイオレット女子野球チームが「わがまち大賞」に輝きました。



部会だより

子ども健全育成部

当部の一大行事として、万葉フェスタ会場で「凧作り」を開催しました。お陰様で60人近い子ども達の参加を頂きまして、部員一同「やって良かったね」と大喜びをしました。

少し前迄は竹とんぼ作りをしていましたが、昨年はそれもなくなり、何か手作りの物ができないかと話し合い凧作りになりました。大凧会館より鳥居先生をお迎えして、作り方のコツなど色々教えて頂きました。

真っ白な凧に思い思いの絵を描いて、凧糸を付け、形を整えて、足を張り付ける。世界にひとつ、自分だけの凧の出来上がりです。

それぞれの持ち帰られた凧が、どうか空高く揚がりますように。

安全・安心部

昨年も夏期および年末の防犯パトロールに参加させていただきました。

10月の万葉フェスタでは、ハイゼックスを使用して調理した非常食としての塩おにぎりの試食会を行いました。素材は糖塚産みずかがみの新米を使用し、多くの方に味わっていただきました。

また、12月1日（土）に開催された東近江市主催の「わくわくこらぼ村」に参加し、非常時の手作り代用品の展示を行いました。体験コーナーでは参加者と一緒にになって、キッチンペーパーを利用した代用マスク等の製作を行い、楽しいひと時を過ごしました。

例年通り、普通救命（AED）講習会の開催を2月に予定しています。後日詳しい案内をさせていただきますので、多くの方々の参加をお待ちしています。

地域活力部

- 9月25日（火） 次年度ムラサキ植栽地調査
- 10月11日（木） 畦一枚位の広さを耕しました。
- 10月12日（金） ムラサキは連作や長い日照時間を嫌うため、長い間ムラサキの植栽を続けていた万葉公園レリーフの裏側から、公園内の比較的日陰になる新しい植栽地への移転をします。その為の準備作業と関係団体への手続きを進めました。
- 10月13日（土） 万葉公園レリーフの裏側（昨年までのムラサキの植栽地）の草刈りをしました。
- 10月15日（月） 次年度植栽予定地の四隅に杭を打ちロープを張って表示しました。
- 12月には、今年春に蒔くムラサキの種を確保しました。
地域活力部では、ボランティアで共に活動していただけの方を求めています。一緒にムラサキの花を育ててみませんか！

健康・福祉部



昨年7月には、天然酵母パン教室に11名の参加。

10月には、万葉フェスタで40食の天然酵母パンと機能水を使用した無農薬コーヒーの販売。天然酵母は体内に酵素を保有しており、美容と健康に良く、便秘にも効果があるそうです。

11月は、マクロビオティック料理教室に8名の参加。天然ニガリと機能水を使って木綿豆腐を作り、本物の旨さを味わい、絞ったオカラでクッキーを作り賞味しました。食後「マクロビオティックから見た認知症の予防」のミニ講義では、甘さを控える食生活の見直しが予防につながるなど熱心に話し合いました。

新年度より「食と水・健康」をテーマに座談会的な催しを考えています。

歴史・文化部

歴史文化部の今年の「れきし発見」は「虫送り」です。DVDのお披露目会を、1月12日（土）午後1時30分より市辺コミュニティセンターホールにて行います。その後各自治会長にDVDを配布し、皆さんへ回覧してもらいます。

今はほとんどの地域で「虫送り」は実施されていませんが、役員だけで行っている各町や子ども達も入って賑やかにされている町もあり、その様子をビデオでお伝えします。是非ご覧ください。

自然・環境部

長い日照りと大型台風、地震に伴う長期停電。どれも天災？でしょうか。

夏は涼しく冬暖かく、豊富な家電に囲まれ使い捨ては常識。食べ残しや期限切れの食品さえ可燃袋に入れれば処理してくれる。便利な世の中になりました。そんな豊かさに甘えた人類が招いた人災ではないでしょうか。豊かさに少し逆らっても、未来の地球を守るため、本年も活動を続けます。

1月31日（木）の研修先「枚方ゆめ工房」は、廃品をボランティアで再生させる施設です。



明けましておめでとうございます。
昨年は元日ハムの大谷選手がMLBに挑戦した年でした。大活躍している日本人選手は野茂やイチローのほかにも沢山いますが、投打の二刀流が評価されアメリカン・リーグの新人王を獲ったことは何とも凄いことです。

彼はまだ24歳なのでこれから本番の野球人生を迎えるのですが、驕ることなくひた向きに前を見ているその姿から、人のるべき生き方を重ねている自分に気付きました。この年、災害級の暑い夏を過ごしましたが、彼の活躍を伝えるメジャーリーグの中継から爽やかな涼風を感じました。今年も楽しませてくれそうですね。（道）